

エコアクション21

環境経営活動レポート

(52期：2019年11月1日～2020年10月31日)



発行 2021年1月31日



OSUMI
株式会社オオスミ

目次

1. 組織の概要
2. 環境方針
3. 中長期環境目標（全社）
4. 環境目標とその実績
5. 環境活動計画及びその取組結果と評価・次年度の取組
6. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果
並びに違反、訴訟等の有無
7. オオスミ環境等活動の概要
8. 代表者による全体評価と見直しの結果

1. 組織の概要

(1) 名称及び代表者氏名

株式会社 オオスミ

代表取締役 大角 武志



(2) 所在地（認証・登録範囲）

本 社 神奈川県横浜市瀬谷区五貫目町20番地17

TEL：045-924-1050（代）

FAX：045-924-1055

東京支店 東京都千代田区神田猿樂町二丁目1番14号

川崎支店 川崎市宮前区鷺沼3-1-37

大和支店 大和市福田2丁目25番地1

福島支店 福島県郡山市富田町字稲川原67番地

千葉営業所 千葉県鎌ヶ谷市西道野辺13-41-101

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者 鈴木 典子

TEL：045-924-1050

FAX：045-924-1055

e-mail：info@o-smi.co.jp

(4) 事業の規模

資本金：3,000万円

工事の件数：0件

従業員：119名

(5) 事業活動の内容

環境分析・測定・調査及び企画・コンサルティング、工業薬品販売
 建設工事(汚染土壌除去工事、アスベスト除去工事)

URL : <http://www.o-smi.co.jp>

私たちは地球環境を見守るプロフェッショナルです。

調査、測定、分析、コンサルティング、対策。
 確かなプロセスを踏み、あらゆる環境問題への答えを探ります。



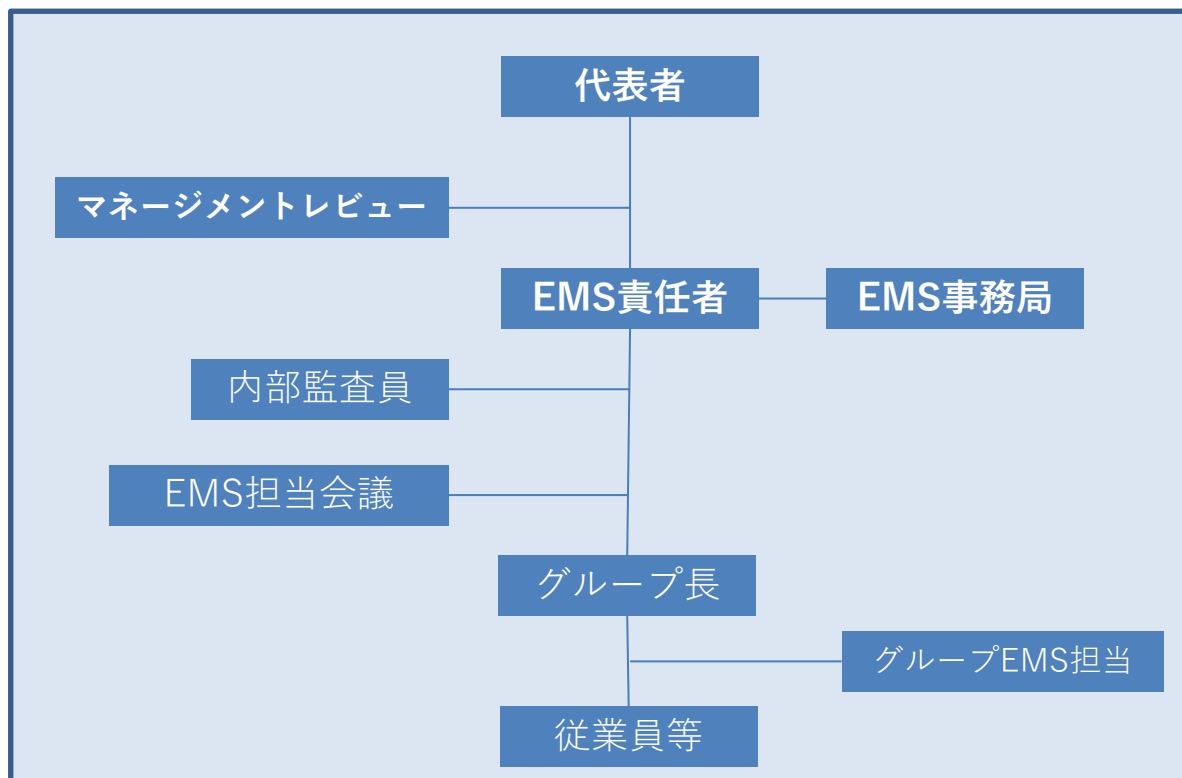
膨大なソリューションで、地球環境を見守ります。

5つの「事業分野」に対し、「企画提案、セミナー、コンサル」
 「調査、測定、分析」「対策、工事、販売」という3つの段階でアプローチ可能です。

A	環境保全事業	水、土壌、大気、騒音・振動、アスベスト、PCB等
B	労働安全衛生型環境事業	作業環境測定、個人暴露測定等
C	エネルギーソリューション	地球温暖化対策、省エネ診断等
D	製品・材料試験事業	材料・異物分析、受託・研究、ゆあらぼ、こらぼ等
E	環境関連商品等販売事業	化学工業薬品、環境関連商品、省エネ対策商品等



(6) エコアクション21組織図



(7) 各種許認可・登録

計量証明事業登録（濃度） 神奈川県第18号

計量証明事業登録（音圧レベル） 神奈川県第29号

計量証明事業登録（振動加速度レベル） 神奈川県第11号

作業環境測定機関登録 神奈川県労働局14-18

建設コンサルタント登録（港湾及び空港部門、土質及び基礎部門） 建23第9793号

土壌汚染対策法に基づく指定調査機関登録<環境省> 指定番号 2020 -3- 0008号

建築物飲料水水質検査業登録 横浜市23水第0002号

建築物空気環境測定業務登録 横浜市22空第0025号

毒物劇物一般販売業登録 第51150012号（本社）・第09510065号（大和支店）

特定建設業許可（とび・土工工事業、電気工事業、塗装工事業、解体工事業）神奈川県知事許可（特-29）第84595号

令和2年度環境省CO2削減ポテンシャル診断機関

ISO9001：2015/JIS Q 9 001:2015 登録番号4909

エコアクション21 認証・登録番号0010719

2. 環境方針

オオスミ環境方針

1. 私たちは使命として、「私たちは 地球に暮らす人々に『安全』と『安心』を環境面から提供しつづけます」を掲げ、国内外における環境にかかわる調査・測定・分析およびコンサルティングの仕事を行っています。私たちは、私たち自身の仕事の開拓や拡大は直接あるいは間接にお客様の環境負荷の低減や地球環境の保全に寄与すると認識し行動します。
2. 私たちが環境や安全に関する法令や決まりごとを順守し、環境汚染の防止と環境負荷の低減をはかっていくことは、私たちの事業運営の大前提であると認識します。私たちは次の事項に取組み、環境目的・目標を定め、マネジメントシステムの継続的な改善に努めます。
 - ① 取扱う化学物質等の適正な管理
 - ② 廃棄物の適正な管理
 - ③ 資源の効率的利用と3 R (Reduce、Reuse、Recycle) の推進
 - ④ 排水処理設備の円滑な運用
 - ⑤ エネルギー使用の効率化によるCO2排出量の抑制
 - ⑥ グリーン購入の推進
 - ⑦ 建設現場での環境負荷の低減
3. 私たちは、各自が環境への高い意識を持ち続け、環境に関する知識を深めるとともに日常生活においても環境負荷の低減や自然環境の保全に配慮して行動します。

2020年9月9日

株式会社オオスミ

代表取締役 大角 武志



OSUMI
私たちは地球のドクター

3. 中長期環境目標（全社）

環境目標	50期		51期		52期	
	2017年11月～2018年10月		2018年11月～2019年10月		2019年11月～2020年10月	
1-(1)環境配慮サービスの提供拡大(全社売上計画100%遂行)	100%		100%		100%	
1-(2)「省エネ」売上計画100%遂行	100%		100%		100%	
2-(1)化学物質の適正管理	分析内容ごとに化学物質の使用量は決められているため、削減目標数値は設定せず適正管理活動の計画を目標とする。					
2-(2)廃棄物の適正管理	当社は環境計量証明業であり、分析に必要な量を減らす目標設定は合理性を欠くため、適正管理活動の計画を目標とする。					
2-(3)-①紙の使用量の削減	基準年（49期実績） 1%削減		前年度目標1%削減		前年度目標1%削減	
	6,534	kg	6,469	kg	6,404	kg
2-(3)-②水使用量の削減	2,600	m ³	2,733 ※48期実績の3%削減へ修正	m ³	2,704 ※48期実績4%削減へ修正	m ³
2-(4)排出処理装置の維持運用	水質事故「0」		水質事故「0」		水質事故「0」	
2-(5)CO ₂ 削減	326,202	kg-CO ₂	322,940	kg-CO ₂	319,711	kg-CO ₂
2-(5)-①電力使用量の削減	477,418	kWh	472,595	kWh	467,772	kWh
2-(5)-②都市ガス使用量の削減	1,822	Nm ³	1,803	Nm ³	1,785	Nm ³
2-(5)-③ガンリン使用量の削減	32,846	L	32,518	L	32,193	L
2-(5)-④軽油使用量の削減	5,693	L	5,636	L	5,579	L
2-(6)グリーン購入の推進	65	%	66	%	67	%
3.環境に関する取組の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページPR ・社内外の教育訓練 ・環境関連施設の見学 ・エコ活動の継続 ・エコキャップ / 古切手等回収活動 ・社会貢献活動への参加 		<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページPR ・社内外の教育訓練 ・環境関連施設の見学 ・社会貢献活動への参加 ・環境負荷低減設備の効果確認・結果発信 ・エコにつながるオオスミ風呂敷を皆で活用する ・客先訪問時のPR実施 		<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページPR ・社内外の教育訓練 ・環境関連施設の見学 ・社会貢献活動への参加 ・環境負荷低減設備の効果確認・結果発信 ・エコにつながるオオスミ風呂敷を皆で活用する ・客先訪問時のPR実施 	
4.工事現場における環境配慮の徹底	建設現場での環境配慮		建設現場での環境配慮		建設現場での環境配慮	

備考：購入電力の二酸化炭素排出係数は、東京電力エナジーパートナー(株)（平成27年度）の0.482 kg-CO₂を使用しています。
50期から本社と東京支店を目標合算した数字で運用

4. 環境目標とその実績-1

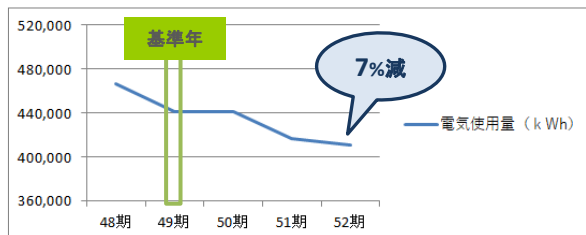
環境目標	取組とその評価（2018年11月～2019年10月）		
	目標 52期	実績 52期	達成区分
1-(1)環境配慮サービスの提供拡大 (全社売上計画100%遂行)	100%	88%	×
1-(2)「省エネ」売上計画100%遂行	100%	76%	×
	(34百万円)	(26百万円)	
2-(1)化学物質の適正管理	・化学物質(試薬)の適正管理 ・定期的作業環境測定	・化学物質(試薬)の適正管理 ・定期的作業環境測定	○
2-(2)廃棄物の適正管理	・一般廃棄物の金額管理 ・廃棄物置き場の適正管理	・一般廃棄物の金額管理 ・廃棄物置き場の適正管理	○
2-(3)-①紙の使用量の削減	基準年(49期実績) 1%削減		×
	6,404 kg	6,684 Kg	
2-(3)-②水使用量の削減	2,704 m ³	3,351 m ³	×
2-(4)排出処理装置の維持運用	水質事故「0」	水質事故「0」	○
2-(5)CO ₂ 削減	313,184 kg-CO ₂	265,525 kg-CO ₂	○
2-(5)-①電力使用量の削減	467,772 kWh	410,492 kWh	○
2-(5)-②都市ガス使用量の削減	1,785 Nm ³	2,128 Nm ³	×
2-(5)-③ガソリン使用量の削減	32,193 L	21,295 L	○
2-(5)-④軽油使用量の削減	5,579 L	6,962 L	×
2-(6)グリーン購入の推進	67 %	63,7 %	×
3.環境に関する取組の向上	①ホムペ-ジ等 P R ②社内外の教育訓練 ③環境関連施設の見学 ④社会貢献活動 ⑤環境負荷低減設備の効果確認・結果発信 ⑥環境にやさしい電力へ ⑦社内の脱プラ促進	①ホムペ-ジ等 P R ②社内外の教育訓練 ③環境関連施設の見学 ④社会貢献活動 ⑤環境負荷低減設備の効果確認・結果発信 ⑥環境にやさしい電力へ ⑦社内の脱プラ促進	○
4.工事現場における環境配慮の徹底	建設現場での環境配慮	廃棄物、騒音等の配慮を行いつつ作業を実施	○

備考：購入電力の二酸化炭素排出係数は、東京電力エネルギーパートナー(株)(平成30年度)の0.468 k g - C O₂を使用しています。

4. 環境目標とその実績-2

52期CO2総排出量 **265,525 kg-CO₂**

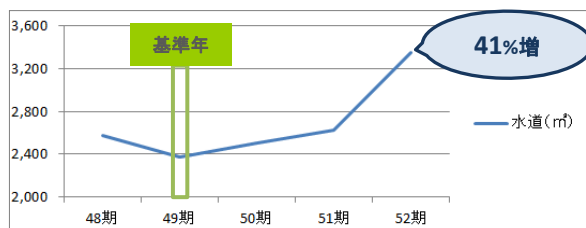
電気使用量推移 (kWh)



過去5年間、48期から削減傾向にあります。分析部門があるため分析装置の稼働率にも影響されますが、基準年の49期と比較し52期は7%削減しています。遮熱シート貼付け、エアコンハイブリットファンやタイマーの活用などの対策が寄与しています。

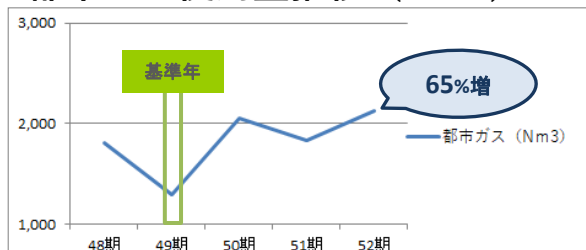
52期CO₂に寄与する比率 **72%**

水道使用量推移 (m³)



49期までは順調に使用量が削減できていましたが、50期から大幅に増加したため、要因調査を行った。51期の増加については、水を大量に使用する装置の導入が判明。については、52期の増加については、原因不明のため、要因調査を行っています。

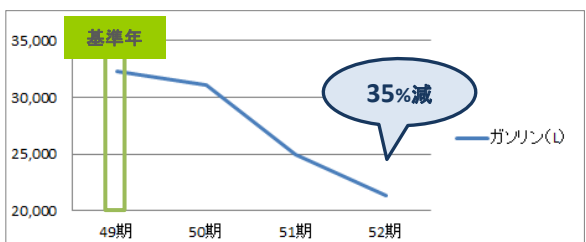
都市ガス使用量推移 (Nm³)



49期までは順調に使用量が削減できていましたが、その後増減があります。主に分析部門での装置の稼働率に影響されます。

52期CO₂に寄与する比率 **2%**

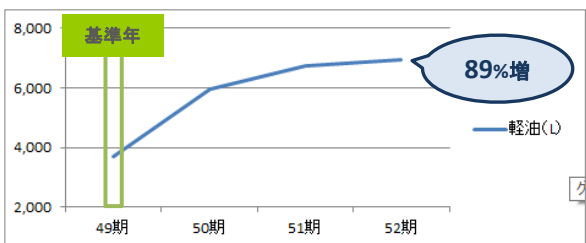
ガソリン使用量推移 (L) ※49期以降で作成



基準年の49期から順調に使用量が削減できています。50期には若干の使用量削減でしたが、51期、52期は、仕事量の変化及び社用車の相乗り、アイドリングストップ、ハイブリット車への変更等の結果であると考えます。

52期CO₂に寄与する比率 **19%**

軽油使用量推移 (L) ※49期以降で作成



基準年の49期から年々に使用量が増加しています。主な要因は、近県における環境調より東北地方への環境調査が増加し、機材運搬や巡回回数が増加してことと推測します。今後、増加する要因を明確にしていきます。

51期CO₂に寄与する比率 **7%**

5. 環境活動計画及びその取組結果と評価・次年度の取組

環境方針 No.	環境目標項目	環境目標活動項目	取組結果	評価	次年度（53期）の取り組み内容	
1	省エネ業務及び環境改善につながる案件等の受注拡大	各グループ計画の遂行	コロナの影響及び価格競争の激化、積極的に案件獲得を目指したが、目標を下回った	×	各グループ計画の遂行	
		関係グループでの取組	省エネ診断事業者の増加により、積極的に案件の獲得を目指したが、目標を下回った	×	関係グループでの取組	
2-(1)	使用化学物質の種類と量の把握及び適正な保管状況の維持	<ul style="list-style-type: none"> ・ 試薬管理システムの構築 ・ 定期的作業環境測定 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 試薬管理システム構築 ・ 定期的作業環境測定実施 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・ 試薬管理システムを活用し見える化を進める ・ 勉強会の実施 	
2-(2)	廃棄物の適正管理 産業廃棄物の適正管理	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一般廃棄物の分類、金額管理 ・ 廃棄物置き場の適正管理 ・ ゴミの分別徹底 	活動目標を全て実行	○	<ul style="list-style-type: none"> ・ 廃棄物管理の整備・規定見直し ・ 分別の明確化及び分別徹底 ・ 3S（整理・整頓・清掃）活動 	
2-(3)	資源の効率的利用	①紙使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・ ペーパーレス化推進検討 ・ 給与紙の廃止 ・ ペーパー使用状況現状把握 ・ 報告書控の印刷廃止 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 給与紙の廃止、報告書控えの出力廃止を行った ・ 使用状況現状把握は未実行 	×	<ul style="list-style-type: none"> ・ ペーパーレス化推進 ・ ペーパー使用状況の現状把握
		②水使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・ 節水に取り組む ・ 原因の究明を行う 	増加原因の装置が判明 ただし、9月の増加原因は不明。引き続き調査を行う	×	<ul style="list-style-type: none"> ・ 節水に取り組む ・ 原因の究明を行う
2-(4)	排水処理装置の維持・運用	<ul style="list-style-type: none"> ・ 下水排除基準超過ゼロ ・ 分析新機器の導入検討 	定期的な排出処理装置の点検と水質分析によりトラブル『0』で目標を達成	○	<ul style="list-style-type: none"> ・ 下水排除基準超過ゼロ ・ 分析新機器の導入検討 	
2-(5)	排出量の削減	①電力使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・ エアコンの適正温度管理 ・ デマンド監視 ・ 社員一斉退勤時電力削減 ・ 電子機器の電源管理徹底 ・ エアコン定期清掃実施 ・ 一部照明をLEDに変更 ・ 不要照明の小まめな消灯の啓発・実施 	活動目標をほぼ実行。 エアコンの切りタイマー調整等により目標を達成した。	○	<ul style="list-style-type: none"> ・ エアコンの適正温度調整を行う ・ デマンド監視を行う ・ エアコンフィルタの定期清掃 ・ 月1回の社員一斉退勤時の電力の削減 ・ LED照明の採用 ・ 太陽光発電システム導入 ・ 再エネ100宣言 RE Actionの検討
		②化石燃料消費量の削減 ・ 都市ガス ・ ガソリン ・ 軽油	<ul style="list-style-type: none"> ・ エコドライブの啓発・実施 ・ 無駄なアイドリングを無くす啓発・実施 ・ 公共交通機関の積極活用 	化石燃料2種は目標未達成。 但し、火力が主体である電力使用量が2-(5)①の活動により達成できCO2排出量削減は目標を達成した。	△	<ul style="list-style-type: none"> ・ エコドライブの啓発・実施 ・ 無駄なアイドリングを無くす啓発・実施
		③排出CO2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 省エネ診断に基づく対策により削減した二酸化炭素排出量のKPI設定及びモニタリング 	弊社省エネ診断による削減ポテンシャル総量のグラフ化を行った	○	<ul style="list-style-type: none"> ・ 省エネ診断に基づく対策により削減した二酸化炭素排出量のKPI設定及びモニタリング
2-(6)	グリーン購入の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・ 購入伝票にグリーン購入推進の旨を記載 	グリーン購入を推奨したが、対象となる品目が明確かつ徹底できておらず目標未達成	×	<ul style="list-style-type: none"> ・ グリーン購入の啓発・実施 	
3	環境に関する取組の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・ ホームページ等PR ・ 社内外の教育訓練 ・ 環境関連施設の見学 ・ 社会貢献活動 ・ 環境負荷低減設備の効果確認・結果発信 ・ 環境にやさしい電力へ ・ 社内の脱プラ促進 	活動目標を全て実行。 また社外に対しての環境教育や脱プラ等の活動に積極的にかかわる等、SDGsに繋がる取組みを行っている	○	<ul style="list-style-type: none"> ・ ホームページ等PR ・ 社内外の教育訓練 ・ 環境関連施設の見学 ・ 社会貢献活動 ・ 環境負荷低減設備の効果確認・結果発信 ・ 環境にやさしい電力へ ・ 社内の脱プラ促進 	
4	工事現場における環境配慮の徹底	建設現場での環境配慮	廃棄物、騒音等の配慮を行いつつ作業を実施	○	建設現場での環境配慮	

6. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

凡例：●：該当する ■：努力義務がある ×：該当なし

No	法令名称	判定	管理部署責任者	遵守状況確認・評価		
				チェック日	結果	
1	環境基本法	■	総務グループ長	2020/8/11	○	
2	化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律（化審法）	×	分析グループ長	2020/8/11	-	
3	化管法（PRTR法）	●	分析グループ長	2020/8/11	○	
4	労働安全衛生法	●	総務グループ長	2020/8/11	○	
		●電離放射線障害防止規則	●	分析グループ長	2020/8/11	○
		●有機溶剤中毒予防規則	●	分析グループ長	2020/8/11	○
		●特定化学物質障害予防規則	●	分析グループ長	2020/8/11	○
5	毒物及び劇物取締法	●	分析グループ長	2020/8/11	○	
6	消防法	●	総務グループ長	2020/8/11	○	
	横浜市火災予防条例	●	総務グループ長	2020/8/11	○	
7	高圧ガス保安法	●	分析グループ長	2020/8/11	○	
8	フロン排出抑制法	●	総務グループ長	2020/8/11	○	
9	地球温暖化対策の推進に関する法律（温対法）	■	総務グループ長	2020/8/11	○	
10	エネルギーの使用合理化等に関する法律（省エネ法）	■	総務グループ長	2020/8/11	○	
11	廃棄物の処理及び清掃に関する法律（廃棄物処理法）	●	総務グループ長 調査第一グループ長 分析グループ長	2020/8/11	○	
12	PCB廃棄物特別措置法	■	総務グループ長	2020/8/11	○	
13	資源の有効な利用の促進に関する法律（リサイクル法）	■	総務グループ長	2020/8/11	○	
14	容器包装リサイクル法	■	総務グループ長	2020/8/11	○	
15	家電リサイクル法	●	総務グループ長	2020/8/11	○	
16	小型家電リサイクル法	■	総務グループ長	2020/8/11	○	
17	建設リサイクル法	●	調査第一グループ長	2020/8/11	○	
18	食品リサイクル法	×	総務グループ長	2020/8/11	-	
19	自動車リサイクル法 【全車リース使用】	×	総務グループ長	2020/8/11	-	
20	水銀汚染防止法（水銀による環境の汚染の防止に関する法律）	●	総務グループ長	2020/8/11	○	
21	自動車Nox・PM法	×	総務グループ長	2020/8/11	-	
22	水質汚濁防止法（地下汚染含む）	●	分析グループ長	2020/8/11	○	
	横浜市生活環境の保全等に関する条例	●	分析グループ長	2020/8/11	○	
23	下水道法	●	分析グループ長	2020/8/11	○	
	横浜市生活環境の保全等に関する条例	●	分析グループ長	2020/8/11	○	
24	騒音規制法	●	総務グループ長	2020/8/11	○	
25	振動規制法	●	横浜市生活環境の保全等に関する条例（振動関係）	2020/8/11	○	
26	悪臭防止法	●	横浜市生活環境の保全等に関する条例（大気関係）	2020/8/11	○	
27	グリーン購入法	■	総務グループ長	2020/8/11	○	
28	電気事業法	■	総務グループ長	2020/8/11	○	
29	水道法	■	総務グループ長	2020/8/11	○	

7. オオスミ環境等活動の概要- 1



再生可能エネルギー100%となりました！

CO2排出量の削減を目的に、発電所を指定して電力供給を受けることのできる会社と今期契約、秋田県八峰町峰浜風力発電所から電力の供給を受けることになりました。今後、オオスミの使用する電力は再生可能エネルギー100%です。



電力使用量の削減を目的に、計画を実行し、さらなる節電に繋がりました。

- ・ エアコンのタイマー設定によるデマンドコントロール、定時以降の電力使用量削減



- ・ 空調洗浄工事や従業員によるフィルター定期清掃の実施

- ・ コピー機の電源を帰社時にOFFする機械の明確化をおこない、消し忘れ防止

- ・ 省エネを兼ねた感染予防の換気方法について、社内啓発

- ・ 太陽光発電システム導入検討（来期導入決定）



【エコドライブ15%の効果をシュミレーション】
オオスミでは現在、約30台車を保有しています。昨年1年間の実績で15%改善したとして試算すると、以下のようになります。

●エコ（CO2排出削減）	
ガソリン	72,249kg/年 × 15% = 10,837kg/年
軽油	15,659kg/年 × 15% = 2,349kg/年
合計	約13,185kg CO2排出の削減に繋がります！！

これは森林1年間のCO2吸収量だと、942本に相当します。また、オオスミの電気の使用によるCO2排出量で見ると11ヶ月分にも相当します。

●コストの削減	
ガソリン	404万円/年 × 15% = 60万円/年
軽油	69万円/年 × 15% = 10万円/年
合計	約70万円 のコスト削減につながります！！

エコドライブを実践し、エコにもコスト削減にもつながるやさしい運転を心がけましょう！

ガソリン・軽油の削減を目的に、使用量・金額実績を活用したエコドライブのシュミレーションを行い、社内展開しました。

一般的にいわれている、燃費15%を改善した場合、森林1年間のCO₂吸収量だと、814本に相当します。

7. オオスミ環境等活動の概要-2



外周清掃

毎週1回本社の外周清掃を実施しています。地域住民の一員として、よりよい環境づくりに貢献したいと考えています。

使用できる日用品の寄贈を行いました

使用できる日用品等を集め、『もったいない』の心を活動の軸としている、『もったいないジャパン』へ寄贈活動を行っています。寄贈した日用品等は、それを必要としている国内外の福祉団体や個人等に寄贈されます。



使用済切手の寄贈を行っています



オオスミでは郵便物の使用済切手の回収を行い、『公益社団法人日本キリスト教海外医療協力会』へ寄贈活動を行っています。収集した切手は、海外の保険医療事情向上のために役立てられています。

アクアリウムの設置

地域の自然を知っていただきたいと、川の生態を再現した、アクアリウムを受付近くに設置しました。



巣箱の設置

本社付近に生息する野鳥のため、巣箱の設置を行っております。主にシジュウカラが巣箱を利用しています。



環境分析の専門技術で社会に貢献するプロボノ活動（専門性を活かしたボランティア活動）を行っています。当社が参画している横浜都心部のまちづくりNPO法人HamaBridge濱橋会の「大岡川の水を徹底的に綺麗にするプロジェクト」では定期的に水質調査を行い、勉強会で環境調査・分析に関する講師を務めるなど、環境改善の「わ」を広げる活動を行っています。

プロボノ活動 @濱橋会



目黒町公園の清掃活動

本社前にある目黒町公園の草刈りと清掃活動を行っています。ひと月に1週間清掃の週を決め、昼休みの時間を使って活動しております。特に夏の時期には草刈り機も使ってみっちり活動しています！



水のふるさと道志の森基金への寄付をおこなっています

オオスミ本社の飲料用自動販売機の売り上げの1%が『水のふるさと道志の森基金』に半年に1回寄付されます。『水のふるさと道志の森基金』は、道志の森を再生させる活動である『道志水源林ボランティア事業』に活用されています。



本社外周を緑化！～自然と触れ合う歩道～

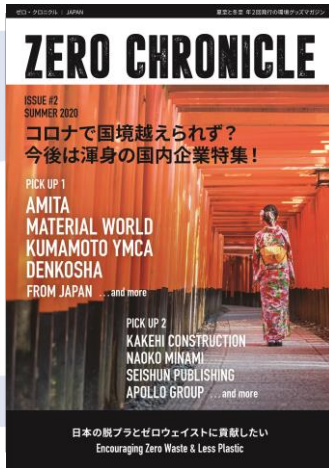
オオスミ本社外周フェンス及び植え込み部分を活用し、自然と触れ合える花壇をつくりました。みんなで育てた苗を含め、ホウセンカ、ジニア、マリーゴールド、ゴーヤ、アサガオ、アジサイ、フウセンカズラなどを植えました。引き続き、明るい雰囲気の花壇づくりをすすめていきます。



7. オオスミ環境等活動の概要- 3

脱プラスチックに関するオオスミの取り組み

近年、プラスチックごみによる海洋環境や生態系への影響が懸念されています。オオスミでは、プラスチックの削減に取り組めます。



0号・1号・2号

ゼロ・クロニクル発行！

夏至・冬至の年2回発行

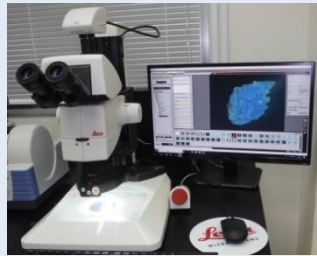
オオスミでは、『日本の脱・プラとゼロ・ウェイストに貢献したい』との想いで、環境マガジンZEROCHRONICLEを2019年6月から発行しています。



ZERO CHRONICLE 限定 デジタル版 **NEW**

マイクロプラスチック分析業務を行っています！

プラスチック汚染の現状把握に係わる、マイクロプラスチックの採取や分析業務を行っています。



脱ペットボトル自動販売機を設置！

ペットボトルを廃止し、缶のみの自動販売機を設置しています。設置に伴い、水道直結ウォーターサーバーを導入。ロゴ付水筒を従業員で活用しています。



7. オオスミ環境等活動の概要-4



省エネの出前授業を行いました！

環境教育の一環として「学校でできる省エネ」に取り組んでいる横浜市の小学校より、省エネに関する講義のご相談をいただき出前授業を行いました。その他、**SDGs授業**や**職業講和**等、次代を担う子どもたちを支援する活動を行っています。



不動産取引に際しての環境リスク
—
土壌汚染
—
アスベスト、PCB
—
作業環境測定
—
環境リスク管理
—
省エネルギー診断

7月、8月のプログラム決定！ オオスミ環境ウェビナー

環境調査・測定・分析に携わって52年！
経験豊富な技術者によるセミナーを **オンライン** でご提供いたします。
従来は対面形式で開催していた、オオスミ環境セミナーですが、2020年6月から一部オンライン形式で提供しております。また、一部プログラムは日本建築士学会主催のCPDプログラムに認定しています。
関連分野の知識習得や技術の向上、新入社員教育や他部署から異動してきた方のための専門教育として等、オオスミ環境セミナーをご活用ください。
実施予定セミナー一覧は裏面をご参照ください。

株式会社オオスミ
<https://www.o-umi.co.jp>



お客様向け環境ウェビナーを開催しています！

環境関連分野の知識習得や技術の向上、新入社員教育や他部署から異動してきた方のための専門教育として等、外部に対してオオスミ環境セミナーを開催しています。

【セミナー例】

- ・環境法令対策
- ・土壌汚染調査・対策セミナー
- ・アスベストのリスクセミナー
- ・PCB調査・対策セミナー
- ・環境分析に関するセミナー
- ・環境法令に関するセミナー
- ・材料解析セミナー
- ・省エネルギーセミナー など



SDGs勉強会を実施しています！

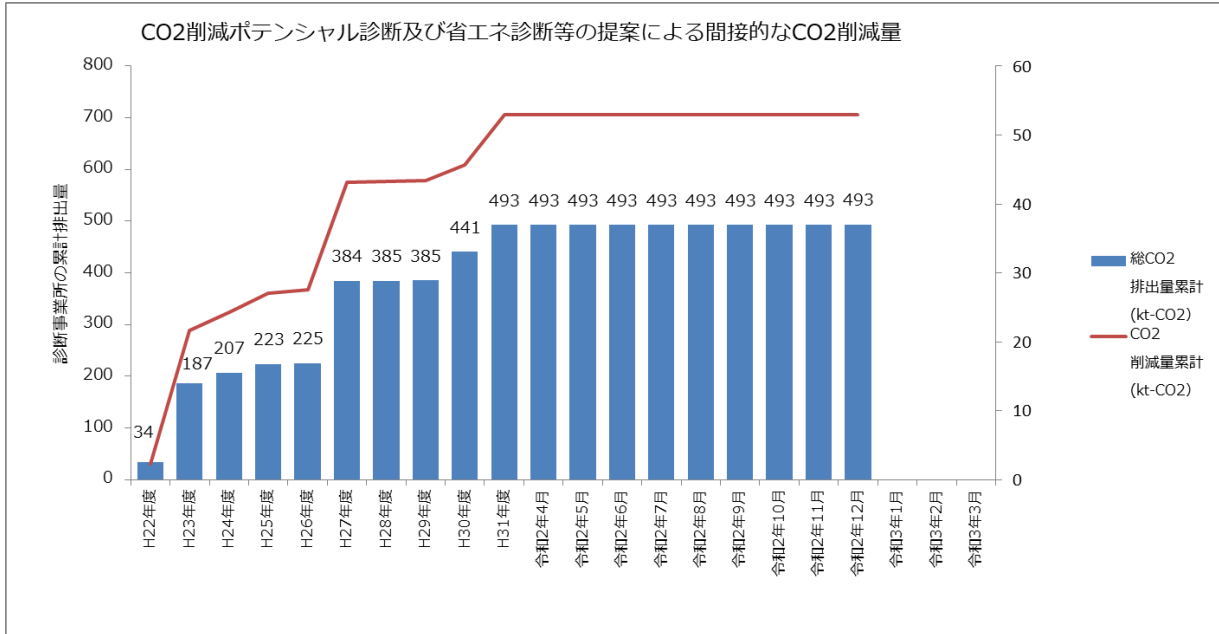
勉強会では正しくSDGsを理解し、我々の事業と環境・社会との関連付けを行い、SDGsを活用した**イノベーション**や**パートナーシップ**の構築を目指しています。

(「オオスミのSDGsへの取り組み」は次頁へ)

7. オオスミ環境等活動の概要- 5

間接的なCO2削減量の算出

オオスミが行っている、CO2削減ポテンシャル診断及び省エネ診断等の提案による間接的なCO2削減量の算出を行いました。



株式会社オオスミ 東京支店は
「東京都 地球温暖化対策 推進事業所」
として2016年度から登録されています



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

オオスミのSDGsへの取り組み

私たちは地球のドクター



「私たちは地球に暮らす人々に『安全』と『安心』を環境面から提供しつづけます」

をミッションとし、地球環境問題の解決に貢献することを目指しています。

私たちは、SDGsをミッションを果たすための中間指標とし、
全社員で目標を定め、オオスミの強みを活かすことで、持続可能な環境や社会の構築に貢献します。

オオスミの事業を通じたSDGsの貢献

	3 気候変動 気候変動対策	4 質の高い教育 良質な教育	6 安全な水と衛生 安全な水と衛生	7 再生可能エネルギー 再生可能エネルギー	8 豊かになる 働きがいのある経済成長	11 持続可能な都市とコミュニティ 持続可能な都市とコミュニティ	12 持続可能な消費と生産 持続可能な消費と生産	14 海の豊かさ 海の豊かさ	15 陸の豊かさ 陸の豊かさ	17 パートナーシップ パートナーシップ
水	○	○	○			○	○	○	○	○
土壌・残土	○	○	○			○	○	○	○	○
大気・空気	○	○	○			○	○			○
放射能	○	○				○				○
PCB	○	○				○	○			○
騒音・振動	○	○				○				○
アスベスト	○	○				○	○			○
材料・製品		○			○		○			○
環境アセス	○	○	○			○		○	○	○
作業環境	○	○			○					○
自然環境	○	○	○			○		○	○	○
工場・建設環境	○	○	○		○	○	○	○		○
地球温暖化対策	○	○		○	○	○	○			○
受託・研究	○	○			○		○			○
環境部長®	○	○			○		○	○		○
ゆあらば®		○			○		○			○
環境の健康診断®	○	○					○	○		○



ロゴ・目標	オオスミのサービスとビジョン		
 <p>3 すべての人に健康と福祉を</p>	<ul style="list-style-type: none"> 水質調査 土壌・残土調査 大気・空気調査 放射線量率測定 PCBコンサルティング 騒音・振動調査 アスベスト調査 環境アセスメント 	<ul style="list-style-type: none"> 作業環境測定 自然環境調査 工場・建設環境 省エネ調査・対策 海外環境協力 受託・研究 環境部長® 環境の健康診断® 	<p>各種公害系環境保全事業（大気、土壌、水質調査等）を通じて環境の現状、並びに潜在的な汚染の把握を行います。また対策工事の実施により、さらなる環境の改善や汚染の拡大を未然に防ぎます。</p>
 <p>4 質の高い教育をみんなに</p>	<ul style="list-style-type: none"> 各種セミナーの開催 		<p>企業や民間向けに各種セミナーや勉強会を開催し、環境面におけるリスク回避や新たな価値の創造を展開していきます。また海外からの技術者を受け入れ、技術指導、技術移転を図ることで、各国における環境改善を促進し、持続可能な社会の構築に貢献していきます。</p>
 <p>6 安全な水とトイレを世界中に</p>	<ul style="list-style-type: none"> 水質調査 土壌・残土調査 大気・空気調査 環境アセスメント 	<ul style="list-style-type: none"> 自然環境調査 工場・建設環境 海外環境協力 	<p>世界中の誰もが安全な飲料水を手に入れることができるよう、工場排水の調査、分析を行うとともに、センサー技術を活用した水質監視システムを構築、展開していきます。また持続可能な水資源の利用を実現するため、水源地を含む一般環境水質の改善に取り組んでいきます。</p>
 <p>7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに</p>	<ul style="list-style-type: none"> 省エネ調査・対策 海外環境協力 		<p>事業所の省エネ調査において、設備更新のみならず運用改善等の提案によりエネルギー効率化を推進します。また温暖化ガス削減の観点から、お客様に再生可能エネルギーへの転換も提案し、企業価値向上に貢献していきます。</p>
 <p>8 働きがいも経済成長も</p>	<ul style="list-style-type: none"> 材料解析 作業環境測定 工場・建設環境 省エネ調査・対策 	<ul style="list-style-type: none"> 海外環境協力 受託・研究 環境部長® ゆあらば® 	<p>環境部長Rを通じて、事業所における環境法令の順守状況を把握するとともに、さらなる環境負荷低減へ向けてお客様に寄り添い、より一層の企業価値向上のためのサポートを行います。また省エネ調査においては適切な設備運用を提案することで、最大の費用対効果を実現していきます。</p> <p>ゆあらばや材料解析では、お客様の品質、生産効率向上のため、様々な問題解決に向けて専門的立場からアドバイスを行います。</p> <p>労働環境については、特に東南アジアの諸国に対して、作業環境測定を通じて劣悪な作業環境の低減を展開していきます。</p>
 <p>11 住み続けられるまちづくりを</p>	<ul style="list-style-type: none"> 水質調査 土壌・残土調査 大気・空気調査 放射線量率測定 PCBコンサルティング 騒音・振動調査 	<ul style="list-style-type: none"> アスベスト調査 環境アセスメント 自然環境調査 工場・建設環境 省エネ調査・対策 海外環境協力 	<p>あらゆる技術を駆使して、レジリエントな社会の構築に貢献していきます。</p> <p>特に環境アセスメントに関しては廃棄物関連、並びに再生可能エネルギー関連の事業に着目し、常に最新の情報や技術を取得することで、お客様の要望に応じてまいります。</p> <p>建設工事や解体で発生した有害物質の含まれた土やPCBなどについても、適切な処理のため提案させていただきます。</p>
 <p>12 つくる責任 つかう責任</p>	<ul style="list-style-type: none"> 水質調査 土壌・残土調査 大気・空気調査 PCBコンサルティング アスベスト調査 材料解析 	<ul style="list-style-type: none"> 工場・建設環境 省エネ調査・対策 海外環境協力 受託・研究 環境部長® ゆあらば® 環境の健康診断® 	<p>省エネ調査ではエネルギーの効率化と再生可能エネルギーへの転換を促進することで、持続可能な資源管理に貢献していきます。またLCAやSCOPE3の観点からも、様々なご提案をさせていただくことで、廃棄物や温暖化ガスの排出削減に貢献していきます。</p>
 <p>14 海の豊かさを守ろう</p>	<ul style="list-style-type: none"> 水質調査 土壌・残土調査 環境アセスメント 自然環境調査 	<ul style="list-style-type: none"> 工場・建設環境 海外環境協力 環境部長® 環境の健康診断® 	<p>特にマイクロプラスチック問題に着目し、最新の知見と技術に基づく改善提案を行うことで、海洋汚染の低減に貢献していきます。</p>
 <p>15 陸の豊かさを守ろう</p>	<ul style="list-style-type: none"> 水質調査 土壌・残土調査 環境アセスメント 	<ul style="list-style-type: none"> 自然環境調査 海外環境協力 	<p>生物多様性の確保、持続可能な自然資源の活用という観点から調査、提案をさせていただきます。</p>
 <p>17 パートナシップで目標を達成しよう</p>	<ul style="list-style-type: none"> 教育 各分野における調査、分析、対策工事 		<p>オオスミは「モノ」ではなく「コト」に対して最適な対応を実現するため、多岐にわたる専門分野の会社とパートナーシップを結び、各種課題を解決していきます。</p>

8. 代表者による全体評価と見直しの結果

(1) 全体評価

「当社の事業そのものが環境改善に寄与する」というモチベーションを維持・継続しており、環境経営システムは有効に機能していると考える。しかし、目標設定や結果、成果のすり合わせ不足のため、指標、評価等のばらつきがある。目標は、理論的にも説明ができるよう設定し、環境の会社として、他社の見本となるよう活動を進めましょう。

(2) 見直しの結果

- ①環境配慮サービスの提供拡大については、コロナの影響もあり、全体の受注、省エネや環境部長についても目標を下回った。
- ②廃棄物・化学物質の適正管理については、廃棄物置き場の整理、産廃管理システム導入等を進めたが、まだ整理不足のところがある。今後、置き場ルール等の周知、表示の徹底等を行う。
- ③水の使用量については、冷却水の活用を進める等の施策を行った。水道使用量の増加については、漏水調査より、水使用の多い分析関連機器の把握は出来たが、9月の検針時に判明した通常利用の2倍近い水使用の原因については不明である。引き続き、要因分析を行う。
- ④CO₂排出量の削減については、再生可能エネルギー100%への変更、コロナの影響、エアコンタイマーによるエアコン消灯、エアコンフィルター洗浄等により、本社及び支店とも電力削減の目標達成。結果として、CO₂排出量の削減目標は達成できた。今後、太陽光発電システムの導入等で削減を進める。

以上